

科目名	国語Ⅱ JapaneseⅡ			担当教員	坂本 具償		
学 年	2 年	学 期	通 年	履修条件	必修	単位数	2
分 野	一般	授業形式	講義	科目番号	17120012	単位区分	履修単位
学習目標	1. 現代文や古典の読解を通して、他人の物の見方や考え方を知る。 2. 正しい日本語で表現するための基礎を身につける。						
進め方	講義形式を基本とする。予習・復習に努めてほしい。また、意見を書いたり発表したりしてもらうこともある。年間 20 回の漢字小テストを実施する。						
学習内容	学習項目（時間数）			学習到達目標			
	※全体ガイダンス(1) 1. 随想と小説(13) (1) 評論 相手依存の自己規定(鈴木孝夫)(6) (2) 平気－正岡子規(長谷川櫂)(7)			・論理的文章を読み、論理構成や展開の把握にもとづいて論旨を客観的に理解し、要約し、意見をまとめることができる。 (A-1)			
	[前期中間試験](2)						
	※試験解説(1) 2. 小説と表現実践(13) (1) 山月記(中島敦)(8) (2) 国語表現の実践(5) ア. 敬語 イ. 文の乱れ ウ. 文を短く			・文中の表現をたどりながら人物・情景・心情の描写を理解し、主人公が虎に変身した理由をまとめることができる。 (A-1) ・正しい日本語で表現するための基礎的事項を理解する。 (D-1)			
	前期末試験(2)						
	試験返却・解説(1)						
	3. 表現実践と評論(14) (1) 国語表現の実践(6) ア. 明快な表現 イ. 文体を統一する ウ. 事実を客観的に書く エ. 推敲 (2) 情報社会のパラドックス(清水克雄)(8)			・正しい日本語で表現するための基礎的事項を理解する。 (D-1) ・論理的文章を読み、論理構成や展開の把握にもとづいて論旨を客観的に理解し、要約し、意見をまとめることができる。 (A-1)			
	[後期中間試験](2)						
	※試験返却・解説(1) 4. 漢文(13) さまざまな思想 (1)無用の用 (2)学の効用 (3)公私の対立			・訓読の基本事項を理解し、書き下し文にし読むことができる。 ・それぞれの思想の特色を理解し、それらの思想の根拠や背景について理解し、まとめることができる。 (A-1)			
	後期末試験(2)						
試験返却(1)							
評価方法	1. 評価の内訳：漢字小テストの成績を 10%、提出物を 15%、定期試験を 75%とする。 2. 学習項目ごとの全体評価への重みは、1～4 のそれぞれについて、各 25%とする。						
履修要件	特になし						
関連科目	国語Ⅰ(1年)→国語Ⅱ(2年)→国語Ⅲ(3年)→文学特論Ⅰ(4年)→古典文学(専攻科2年)						
教材	教科書：精選現代文B 東京書籍 三角洋一他編 ISBN 978-4-487-18707-2 問題集：精選現代文B課題ノート 東京書籍 東京書籍編集部 ISBN 978-4-487-36087-1 教科書：新編古典B 教育出版 影山輝國他編 ISBN 978-4-316-20249-5 漢 字：級別漢字学習4級～2級 東京法令出版 赤羽靖他 ISBN 978-4-8090-7508-7 表 現：基礎からの国語表現の実践 京都書房 樺島忠夫・佐竹秀雄共著 ISBN 978-4-7637-4103-5 図 説：新総合図説国語〈新訂版〉東京書籍 池内輝雄他 ISBN 978-4-487-36125-0 辞 書：電子辞書等(国語辞典 古語辞典 漢和辞典)						
備考	※単位追認試験、再試験は適切な時期に実施する。月曜日放課後をオフィスアワーとする。						